



## 序 文

身體検査は、我が國の學校衛生上、大切な仕事である。其結果が個人の養護、學校の體育、全國在學者體位變遷の調査等に重要な資料となるのであるから、検査は各項目に亘り綿密な注意を必要とする。

而して現行規程によれば、身長・體重・胸圍・坐高の測定の上、更に比體重・比胸圍・比坐高の算出を行ふことになつてゐる。多くの被検者に對し、此の計算を正しく行ふ爲には、良い早見表の必要なことは誰しも痛感する所であらう。

學究の士豊川君には、恰も此の方面に關する多年の研鑽があり、屢々學界に其の獨創的識見を發表されて來たのであるが、今回其の技術的應用として本早見表を完成された。就いて見るに、洽汎な内容をよく縮約し、構成清麗、用法また簡単で眞に斯界に卓越せる書であると思ふ。

然も本書は、獨り學校身體検査に役立つのみならず、測定の立場に於て之と殆ど共通の性質を有する生體測定學乃至は運動醫學の方面にも同様に有益なのである。

茲に一言を序して、江湖に推奨する所以である。

昭和十三年二月

臺北帝國大學總長 醫學博士 三 田 定 則 識す



## 序 文

篤學ノ士、學兄豊川君ハ、本書早見表ヲ公ニセラレ余ニ其內容ヲ示サル。

ヨツテ今、余ハ本書ヲ精細ニミルニ、本書ハ全ク、著者獨特ノ考案ニナルモノデアツテ、所謂著者新研究ノアラハレニ外ナラヌ。而シテ世ノ此方面ノ使用者ニ多大ノ便益ヲ與フルモノト余ノ確ク信ズル所デアル。

余ハサキニ東京・内田老鶴圃書肆ヨリ數理統計學ノ書物ヲ出版シ、其第二十三章ニ於テ、同氏獨特ノ新研究ナル豊川式割算表ヲ掲載シタ。其表タルヤ、同氏ガ余ノ上記書物ノ出版ヨリハ、ハルカ前ニ考案發明サレタモノデアツタ。尙遡ツテ述ベレバ、同氏ノ割算表ニ關スル研究ハ世上此種ノ書物ノ出版ヨリハ數年モ早ク學會或ハ専門雜誌ニ發表サレテ來タモノデアル。而シテ上述余ノ書物中ノ同氏理論ノ第一部ニ屬スルモノハ多大ナル紙數ヲ要スルモノデアルガ早クモ脱稿シ、其ノ全部ノ出版ハ追テ計畫中デアル。

本書ハ上記理論ノ第二部ノ應用デアル。余ハ本書ヲ此方面ノ世ノ使用者ニ薦メ、其便益ヲ味ハ、レンコトヲ希フ次第デアル。

昭和十三年二月

臺北帝國大學教授 理學士 松 村 宗 治 識ス



## 自序

此の序の始めに方り、本書の拙きにも拘らず、三田先生竝に松村先生より、御懇な序文を賜つた事に對し、深甚な感謝の念を献げるものである。

儲、一概に言へば、比體重・比胸圍・比坐高の早見表は、結局割算表の一種に過ぎない。割算表は其の使用の目的や構成の方法により、種々得られることは、著者が數年來教育界や學界に<sup>\*</sup>發表して來たところである。爾來此等の理論の應用に係る割算關係の表が二三種世に現れ、誠に欣ばしい事と思つてゐた。併し昭和九年日本學術協會に發表した理論の第二部の應用は、印刷技術困難の爲か、あまり實現してゐない様である。それ故今回は、特に是を用ひて本書を著すこととした。

一體、計算表には、計算器其他で計算した結果をたゞ順次排列したといふ種類の物がある。著者は之を第一類の表と名付けてゐる。第一類の表は、少し理論的に考へれば、大概形式や引方が簡単になるものである。此の段階に達したものを見ると、著者が先年日本中等教育數學會に發表したものは、主として之に屬すると言へよう。

然るに、更に視覺的條件即ち字體を適宜變化させて指數を類別することを考へれば、表の性質によつては第二類の段階より一層高い段階に達し得ることがある。此處では内容が著しく増加し、見方は依然簡單で且つ長時間使用してゐても視覺の疲勞があまり來ないといふ美的乃至は心理的效果を收めることが出來きる。此の段階の表を第三類の表と稱へよう。

寡聞ではあるが、文學方面では、文章の字面を視覺的要素として重んじるとの事である。併し、字面を重要視すべきことは獨り文章道だけのものではないと思ふ。不斷に視覺に訴へる計算表こそは、大いに此の事を考へなければならないのである。是等の意味に於て、計算表の理想としては、第三類又はそれより高き段階のものを採るべきだと確信する。

本書は此の第三類に屬すべき著者創意の表現である。内容は自ら大となり、從つて補助表はいらす、且つ表の構成上補助標尺の類は用ひるに及ばない。併し淺學菲才のことゝて未だ竭さゞる所が多いことであらう。茲に江湖各位の叱正を得て、更に高段階のものに至らしめたいと冀つて罷まぬ次第である。

昭和十三年二月二十一日

臺灣總督府師範學校教諭 豐 川 喜 六 識す

\*1 臺灣教育第333號拙論「榮養概評早見表算出公式に就て」

<sup>2</sup> 日本中等教育數學會雜誌第15卷第1號拙論「四桁ノ割算表ニ就テ」

3 東京物理學校雜誌第514號拙論「除數三桁の割算表」

4 日本學術協會報告第10卷第1號拙論「割算表の作成と運用上」

本論は、臺北帝國大學教授理學士松村宗治氏著「數理統計學」にも全文が轉錄してある。